

週替わりで一息！

第2028回例会（第39版）

今回の二十四節気・七十二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

清明（せいめい） 万物が清らかで生き生きとした様子を表した「清浄明潔」という言葉を訳した季語です。花が咲き蝶が舞い、空は青く澄み渡り、さわやかな風が吹く頃です。『こよみ便覧』には三月節に「万物発して清浄明潔なれば、此芽は何の草としれるなり」と記されている。意識すると「草木が芽吹き、草木の種類が明らかになる清しい頃」

末候「四月十五日～四月十九日」**虹始見（にじはじめてあらわる） 15**

「雨の後に虹が出始める」 春が深くなるにつれ、空気が潤ってくるので、この時期からきれいな虹を見ることができます。虹が虫偏なのは、空にかかる虹を大きな蛇と見たてたためとされています。七十二候で楽しむ日本の暮らし・和暦コラムより

虹は太陽を背に反対側の空に現れる光の輪で、月の光でも夜の虹が出現しますが光が弱く色の薄い虹に。朝に現れる虹は雨の予感夕方に現れるのは晴れに前触れと言われます。



小松飛行場へまもなく着陸する飛行機の翼から虹が見えました。（4月14日午後3時頃）

次回は穀雨
穀物を育てる雨の時期に入ります。

「本日4月8日の金曜日」「クラブフォーラム ～地区大会のあと～」と題して参加者の皆様の発表です！



■地区大会に同伴された奥様から皆様へのお礼を頂きました。



親睦委員のくろろろさままで

